

政策1：観光地域づくりの実践

資料2-2

政策目標「市内観光資源の認知度」「観光入込客数」「市内宿泊客数」 / 政策全体「消費額・満足度・レポート率」

施策<1-1>観光情報の効果的な発信		H30年度						
		実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性	<事業の評価>	
<p>現状行っている観光情報の発信は、多様な主体が個別に実施しているため、市として統一感がないという課題があります。プロモーションの実施方針に則って、情報発信を行う関係者の役割や体制を明確にし、誰に何を伝えるかを常に意識したプロモーションを実施します。</p>	<p>事業<1-1-1>共通のコンセプトに基づく観光情報の発信</p> <p>情報発信に係る共通コンセプトを設定し、それに基づき効果的に情報を発信する。</p>	<p>ようこそ長野へ(市ホームページ観光振興課サブサイト)を活用した情報発信</p>	<p>市(観光振興課)</p>	<p>・動画(YouTube)による観光スポットのPR(鬼無里水芭蕉、真田邸庭園ライトアップ)、イベントの告知</p>	<p>・英語キャプション付きの動画でインパウンドに対応した情報発信を実施した。</p>	<p>・各観光協会との役割分担により、インパウンドを含めた情報発信を継続する必要がある 他、民間サイトの活用等でHP及びSNS閲覧の入口を増やす工夫が必要と思われる。</p>	<p>・動画等を用いながら、誘客に向け、工夫した情報発信が行われている。 ・情報発信に向けたコンセプトが不明確であり、各観光協会との役割分担により、統一的な情報発信に向けた検討を進める必要がある。</p>	
	<p>信州アフターデスティネーションキャンペーンと連携した情報発信</p>	<p>JR、市、ビューロー、商議所(観光振興課)</p>	<p>市への送客拡大等のため、積極的な情報発信及び市内各地で特別企画を実施する。 ・「善光寺表参道街あるき」実施 ・JR長野駅善光寺口壁面「おもてなし」映像 7/1~9/30、11/24~12/25、1/5~2/11 ・「真田邸ライトアップ」 8/11~8/16</p>	<p>・特別企画「善光寺表参道街あるき」(商議所連携)を実施、参加店舗のスタンプ集めで875枚の応募があった。 ・真田邸ライトアップ [678人参加(8/11~8/16の6日間開催)]</p>	<p>・信州デスティネーションキャンペーンが終了、信州アフターデスティネーションキャンペーンが終了するため、信州デスティネーションキャンペーンとしての事業は終了。継続については要検討。</p>			
	<p>事業<1-1-2>ターゲットに向けた効果的な情報発信</p> <p>特に来訪して欲しいターゲットを明確にし、そのターゲットの興味や関心を引くために、魅力的な観光情報を取りまとめるとともに、ターゲットに効果的に届く媒体を選定して発信する。</p>	<p>ソーシャルメディアを活用した観光情報の発信</p>	<p>市(観光振興課)</p>	<p>・市公式インスタグラム、YouTube、Twitter、長野市観光と物産展実行委員会インスタグラム、フェイスブックによる、四季折々の観光情報発信を行う。</p>	<p>・各SNSの特性に合わせた情報発信を実施し、特に長野市観光と物産展実行委員会インスタグラムでは若年層に向けた写真映えるスポットや名産物の紹介を行った結果、フォロワーは356人となった。</p>	<p>・引き続き、各SNSの特性・ターゲットに合わせた情報の発信を継続する他、イベントと連動した企画の実施を検討する。</p>		<p>・若年層向けにインスタグラムなどソーシャルメディアを活用した情報発信が行われており、ターゲットを意識した取組が実施されている。 ・引き続き、各ターゲットの特性・好みを踏まえるとともに、各ソーシャルメディアの拡散(ハッシュタグや、更新頻度など)に向けた工夫を行い、効果を高めていくことが求められる。</p>
	<p>長野市そば歳時記(事務局:観光振興課)</p>	<p>同実行委員会(観光振興課)</p>	<p>・専用ホームページ、パンフレット[1万5千部]、ポスター[400部]、新聞広告等による、市内のそば店及びそばイベントの情報発信を行う。</p>	<p>・ホームページのアクセス数4,584件。 ・フリーブック秋冬号への情報掲載により、長野の食に興味のある層への効果的なPRを実施できた。</p>	<p>・各そば店の特徴が分かるパンフレットへのリニューアルを検討し、市内外からのそば店及びそばイベントへの一層の誘客を図る。</p>			
	<p>SNSを活用した観光情報の発信</p>	<p>鬼無里観光振興会(鬼無里支所)</p>	<p>・Twitterによる観光情報の発信を行う。</p>	<p>・観光振興会のホームページに掲載する情報とTwitterで発信する情報の区別をつけて効果的なPRを実施した。</p>	<p>・SNSを使ったきめ細かな情報発信は効果的なPR方法なので、今後も続けていく方針。</p>			
<p>・戸隠ナビ(戸隠観光情報アプリ)の導入 ・ホームページリニューアル</p>	<p>戸隠観光協会</p>	<p>・Facebookや戸隠観光情報アプリを導入する。 ・ホームページのリニューアルを行う。</p>	<p>・タイムリーな情報は、Facebookや戸隠観光情報アプリを使い、より詳細な情報が伝わるようにした。 ・ホームページのリニューアルを行い、写真や動画を組み入れながら戸隠を一層分かりやすくPRできるものにした。</p>	<p>・戸隠ナビの活用:会員からのダイレクトでタイムリーな情報発信を促進する。 ・ホームページ:引き続きリニューアルを進める。</p>				
	<p><H30施策の評価> <1-1>観光情報の効果的な発信</p>	<p>・多様な主体が、動画やソーシャルメディア等を活用し、情報発信を進めている。より効果を上げるため、コンセプトなど統一的な情報発信に向けた検討・実践を行う必要がある。ターゲットやツールの特性にあわせ、どの層にどのような情報発信を行っていくかを検討し、効果を高めていくことが求められる。</p>						

施策<1-2>地域資源の磨き上げによる魅力向上支援		H30年度						
		実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性	<事業の評価>	
市内の様々な地域資源を観光コンテンツとして磨きあげを行い、来訪を促します。長野市観光の課題の克服や市場ニーズ等に合致するようなテーマを設定します。	事業<1-2-1> 「長野市ならではの食事やお土産(飲食物)の開発支援」	マツシロックプロジェクト (事務局:観光振興課)	マツシロックプロジェクト (観光振興課)	・松代地区における地産材料(柴石)を活用した新たな土産品の開発 [松代アロマ、プレスレット等10種類以上を商品化]	・地域の協力を得ながら、地域資源を活用した新たな土産の開発が進み、商品化することができた。	・本市の土産品として認知されるには、継続的な取組みが必要となる。	・地域の協力を得ながら、地域資源を活用した新たな土産の開発が進み、商品化することができた。新商品は、本市の土産品として認知されるよう発信していくとともに、定着化に向け、観光客の反応をみながら改良(サイズ、味、値段等)していくことが求められる。 ・また、本市の伝統的な保存食の発信など、既存商品の見直しや再発信を行うことができた。引き続き、地域資源を活用し、現代の消費者ニーズにあう「長野市ならではの」商品の開発が求められる。	
	本市観光の課題でもある食の強化を図るために、地域に根付いている資源や文化等を活用し、「長野市ならではの」食事メニューやお土産の開発を支援する。	杏スイーツの開発	松代杏スイーツ研究会 (観光振興課)	・松代地区にゆかりの深い、杏を素材とした新たなスイーツ、菓子の商品化・販売 [商品化した6種類の販売促進のため、販促用チラシ、暖簾、カレンダーを作成]	・地域の協力を得ながら、地域資源を活用した新たな土産の開発が進み、商品化することができた。	・本市の土産品として認知されるには、継続的な取組みが必要となる。		
		魅力発見・発信事業 (ナガラボ)	市(市長公室)	・手間ひまかけて加工した長野市の伝統的な保存食を紹介するフリーペーパー(冊子)を作成し、認知を広げるもの	・3,000冊を印刷し公共施設を中心に設置した結果、冊子補充の申し出や掲載店舗の問い合わせなど反響があり、保存食の認知度の向上に寄与した。	・冊子数に余裕があるため、増刷はかけないが、継続して公共施設への設置及びホームページにおける特集記事としてPRを行う。		
	事業<1-2-2> 市内滞在時間延長のための善光寺界隈、戸隠、松代を起点とした周遊コンテンツ開発	(善光寺界隈) 信州リアル七福神	実行委員会 作業部会	・門前グルメの7ジャンル(ラーメン、そば、甘味、発酵食、洋食、居酒屋、粉もん)を、地元をよく知る7人が七福神に扮してPR。Facebookによるおすすめ店舗紹介の他、まち歩きツアーを実施。	・神おすすめの店舗の紹介パンフレットを10,000部作成。 ・各ジャンルの神が案内するまち歩きツアーを6回開催、60名が参加。 ・メディア出演、お宝まき、善光寺表参道イルミネーションオープニングイベントへの参加。	・地元各ジャンルに精通した神によるおすすめ店の観光客へのPRをより効果的に実施し、善光寺門前の滞在時間延長・消費額拡大を図る。		・作業部会(善光寺界隈、戸隠、松代)他の取組みにより、地域特性に応じた新たな観光コンテンツの開発が進み実施され、着実に結果を出すことができた。 ・引き続き、コンテンツの検討・開発・改良を継続していくとともに、誘客につなげていくことが必要である。また、コンテンツ提供を地域で持続可能なスタイルで続けていく体制づくりが求められる。
	特に来訪して欲しいターゲットを明確にし、そのターゲットの興味や関心を引くために、魅力的な観光情報を取りまとめるとともに、ターゲットに効果的に届く媒体を選定して発信する。	(戸隠) ・戸隠神社早朝お掃除体験&正式参拝 ・五地藏山頂で贅沢カフェタイム	実行委員会 作業部会	・神社お掃除ツアーの実施 [102名参加(7回開催)] ・五地藏登山ツアーの実施 [34名参加(3回開催)] ・戸隠ならではの土産の開発(行動食)	・神社お掃除ツアー 市内宿泊者数58名(宿泊者率56.9%) ・五地藏登山ツアー 市内宿泊者数4名(宿泊者率18.2%) ・行動食を開発し、試食を実施	・神社お掃除ツアーは顧客満足度も高く、五地藏登山ツアーはブラッシュアップしながら、継続・観光協会運営化を目指す。 ・行動食は継続して販売を目指す。		
		(松代) リアル寛永通宝でつくる信州真田六文銭「ロクモンGO!」	実行委員会 作業部会	・市内の協賛施設で宿泊・買い物し「信州真田六文銭」を完成させる販売促進事業 [ロクモンGO!]の運営開始	・「一文銭」配布枚数約4,000枚、「台紙」配布枚数約1,700枚、観光案内所での「台紙」配布枚数82枚(=六文銭完成者数)、完成させた参加者からのアンケートハガキ23枚	・成果指標の達成を目指しながら、コンテンツの検討・開発を継続していく。		
		(飯綱高原) 大谷地湿原保全・再生事業	市(環境保全温暖化対策課)	・湿性植物等分布状況調査 ・前年度に作成された報告書に基づいた保全管理手法(ヨシ刈り・搬出、樹木の伐採、外来植物駆除、水の導入など) ・保全管理手法による湿原へのダメージがないかモニタリング調査を実施する。	・湿原草地面積の減少率が平成24年度から平成27年度の4.2%と比較し、平成27年度から平成30年度は0.4%と低かった。これは、平成29年度秋季に保全対策として樹木伐採を実施した影響であると考えられる。	・持続可能な保全対策事業の手法を検討したい。		
		(戸隠) 茅刈り体験&立冬の戸隠神社奥社参拝	地元まちづくり協議会、観光協会 (文化財課)	・重要伝統的建造物群保存地区の茅葺屋根修理に使用する茅の刈り取り体験	・伝統の茅葺文化に関心の高い地区外の方に戸隠の魅力の一つである宿坊への宿泊を促すために2日間のイベントとし、あわせて戸隠の魅力を体験できるオプション企画を設定した。	・H30は雨天のため企画が中止となってしまったため、雨天時の対応を想定しておくほか、実施日を複数設ける必要がある。		

<p>事業<1-2-3> スポーツや文化芸術、文化財などを切り口としたコンテンツ開発</p> <p>スポーツや文化芸術、文化財など、本市が持っている貴重な資源や既存施設を新たな観光資源として有効活用する観光コンテンツ開発に取り組む。</p>	<p>トライアングルコンサート「麻衣と舞」</p>	<p>実行委員会 (観光振興課)</p>	<p>・信州DCの終了に伴い、長野デザインウィーク善光寺表参道イルミネーション期間中、善光寺にて開催</p>	<p>・信州DCの終了に伴い、長野デザインウィーク善光寺表参道イルミネーション期間中、善光寺にて開催[95人参加]</p>	<p>・信州DCの終了に伴い、長野デザインウィーク善光寺表参道イルミネーション期間中、善光寺にて開催</p>	<p>・文化財等を観光資源として活用し、多くの集客を得ることができた。併せて、文化財に愛着を持つ気運の醸成につながったと考える。</p> <p>・継続的な実施に向けた体制づくり等が必要である。</p> <p>・また、庁内各課と情報共有を行い、観光資源としコンテンツ化できるものを引き続き探していくことが求められる。</p>
	<p>巡奏クラシック</p>	<p>市(観光振興課)</p>	<p>・信州DCの終了に伴い、真田邸ライトアップ「幻奏」に集約</p>	<p>・信州DCの終了に伴い、真田邸ライトアップ「幻奏」に集約</p>	<p>・信州DCの終了に伴い、真田邸ライトアップ「幻奏」に集約</p>	
	<p>真田邸庭園ライトアップ「幻奏」</p>	<p>市(観光振興課)</p>	<p>・真田邸(庭園、正面門、南側塀)のライトアップ [678人参加(8/11~8/16の6日間開催)]</p>	<p>・文化財等を観光資源として活用し、多くの集客を得ることができた。併せて、文化財に愛着を持っていただく気運の醸成につながったと考えられる。</p>	<p>・今後も文化財等を観光資源として活用する取り組みを進めていく。</p>	
	<p>アートメントNAGANO</p>	<p>指定管理者 (文化芸術課)</p>	<p>・“創る・楽しむ・育む・つなぐ”の4つのコンセプトのもと、音楽フェスティバル「アートメントNAGANO2018」を開催 12事業 73公演</p>	<p>・入場者・参加者数 12,880人</p>	<p>・指定管理者事業のため、平成30年度をもって終了</p>	
	<p>伝統芸能継承事業</p>	<p>市(文化芸術課)</p>	<p>・ながの獅子舞フェスティバル 5/3 善光寺表参道 駅前広場 8会場 参加73団体 約1200名</p>	<p>・開催情報、伝統芸能団体をHP等で発信 来場者 約6万人</p>	<p>・2回目の開催で参加団体も増えてきたため、引き続き多くの団体が参加するように周知する。</p>	
	<p>街角に音楽があるまちづくり</p>	<p>市(文化芸術課)</p>	<p>・表参道芸術音楽祭 4/28~30 5/3~5 TO i GO広場 出演104団体 1,603人 ・街角アート&ミュージック 6月~12月(全15日) 出演101団体 897人 駅前広場、南千歳公園、善光寺ほか</p>	<p>・開催情報、出演団体をHP等で発信 ・来場者 表参道 13,763人 街角アート 8,485人</p>	<p>・HP等を活用し、様々なジャンルのアーティストの募集を行うとともに、開催情報を周知する。</p>	
	<p>トレッキングコースパンフレット改訂</p>	<p>市(観光振興課)</p>	<p>・尼巖山奇妙山及び茶臼山トレッキングマップの改訂【10,000部】</p>	<p>各トレッキングコース愛護会によるトレッキングイベントの開催 [5月] ・2コース(三登山、地附山トレッキング) [10・11月] ・5コース(七二会陣場平、三登山、太郎山、尼巖山・奇妙山、地附山トレッキング)</p>	<p>・各コース愛護会の要望に応じ、広報ながの4月号、10月号に掲載する等、情報を発信していく。</p>	
<p>ユニバーサルツーリズム事業</p>	<p>戸隠観光協会</p>	<p>・国や県が積極的に取り組みを推進しているユニバーサルツーリズムについて、県や信州大学と連携し、戸隠での取り組みを始める。</p>	<p>・県の補助金を活用し、デュアルスキーを1台導入するとともに2名のパイロット養成を行い次期スキーシーズンに向けた基盤づくりを整えた。</p>	<p>・障がい者や高齢者などにやさしい観光地域づくりに向けた取り組みを強化する。</p>		
<p>事業<1-2-4> 未活用の地域資源を活かした新しいコンテンツ開発支援</p> <p>ポテンシャルはあるが十分に活用されていない地域資源の発掘と観光コンテンツ化の支援を行い、他の観光コンテンツと組み合わせることにより市内周遊を促す。</p>	<p>鬼無里フットパスによるまちづくり事業</p>	<p>鬼無里観光振興会(鬼無里支所)</p>	<p>・コースづくりの第二弾として、前年度に続き、身近な地域資源を活用した新たな観光ツールとして、フットパスを事業展開し、ワークショップでの検討を経て、白髭神社周辺を巡る「しらひげの杜コース」を開設。併せてウォークイベントを開催。</p>	<p>・住民もイベント時のおもてなし企画への参加を始め、集落の除草・清掃などの維持管理作業を率先して行い、まちづくり実践者が増加した(約220人)。</p> <p>・ワークショップ、イベント、NPOとの連携交流企画などへの参加者や観光客など、関係人口が増加した(延べ約200人)。</p>	<p>・できる限り地元への経済的、肉体的な負担を軽くすることによって、事業の継続性を確保する。</p>	<p>・住民、NPO等と連携し、身近な地域資源を活用した新たな観光コンテンツづくりを進め、形になってきている。また、空き家のリノベーションなど、地域資源も増えつつある。</p> <p>・更なる地域資源の発掘と磨き上げによる観光コンテンツ化の支援と、それら資源への周遊を促す取組が必要である。</p>
	<p>移住者起業支援金</p>	<p>市(人口増進課)</p>	<p>・県外からの移住希望者が、観光客等を対象にしたカフェやゲストハウス、民泊等を開業するための初期投資費用(施設改修費等)を、100万円を上限に支援</p>	<p>・交付件数:6件 (カフェ:2件、治療院:1件、ネット販売1件、IT:1件)</p>	<p>・空き家を改修してカフェや宿泊施設を開業する移住者が増加傾向にあることから、費用面での支援を継続することで、観光で利用できる地域資源の増加につなげる。</p>	
	<p>共同によるうちわ作成</p>	<p>地域内指定管理者(大岡支所)</p>	<p>・十分に活用されていない聖山頂からの北アルプスの眺望のPRと、大岡地域内の指定管理施設のPRまた、実行委員会が主催するひじり三千石祭り・収穫祭のPRを行うことを目的に、共同で「うちわ」を作成することに支援を行った。</p>	<p>・各指定管理施設をはじめ、長野駅観光センター内に配置することにより、県内及び県外から本市に訪れた方に対し大岡地区全体のPRを行うことができた。</p>	<p>・地域内指定管理施設連携横断企画であり、今後も地域全体で地域への誘客を行うことが重要となるため、費用対効果を検証しながら継続する。</p>	
	<p>虫倉山開山祭</p>	<p>虫倉山開山祭実行委員会(中条支所)</p>	<p>・第29回信州百名山の開山祭</p>	<p>・H30.5.3 丸山公園にて実施し、参加者 105名(天候:雨)であった。 ・観光資源として認知度向上</p>	<p>・虫倉山に係る山姥伝説の発信による魅力向上のため、虫倉神社(大姥神社)・柏鉢城(天神城)などの史跡巡り、同時開催イベント『となりの村の道めぐり』と併せた観光モデルコースを案内する。</p>	
	<p>信州むしくらまつり虫倉山登山の部</p>	<p>信州むしくらまつり実行隊(中条支所)</p>	<p>・虫倉山トレッキング</p>	<p>・H30.10.21 虫倉山にて参加者 22名【中条支所】 ・観光資源として認知度向上</p>	<p>・観光コンテンツ化を進めるため、虫倉山の日から1週間を『信州むしくらまつりウィーク』として認知度を高める工夫をしたい。また、観光施設のやきもち家と連携し、虫倉山登山者には施設利用の特典を進呈する。</p>	
<p><H30施策の評価> <1-2>地域資源の磨き上げによる魅力向上支援</p>	<p>・市内の様々な地域資源に観光コンテンツとしての磨きあげを行い、来訪を促すことができている。市場ニーズ等に合致するようなテーマの設定を引き続き検討していくことが必要。</p>					

H30年度							
施策<1-3>観光都市を実現するための人材育成・体制整備	実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性	<事業の評価>	
<p>質の高いサービスや新しいコンテンツ開発が行われる基盤として、観光事業者による人材育成支援を行います。また、観光都市としての意識を市民全体が高く持てるよう、地域教育の促進やおもてなしの心の醸成に努めます。</p>	<p>事業<1-3-1> 観光リーダー育成支援</p> <p>観光コンテンツ開発や質の高いサービス提供ができる人材を「観光リーダー」とし、その育成に取り組むことで、市全体の観光産業のレベルアップを実現する。</p>	<p>長野市観光振興計画アクションプラン作業部会</p>	<p>・観光コンテンツ開発や質の高いサービス提供ができる人材として、善光寺界隈、戸隠、松代の各作業部会員を「観光リーダー」として位置付け、市全体の観光産業のレベルアップを図る。</p>	<p>・各作業部会において、部会員が幅広い知識や人脈などを活かした取組みによって、市全体の観光産業のレベルアップが図られている。</p>	<p>・正副部会長会議等を開催し、各部会の取組み等を情報共有することによって、市全体の観光産業のレベルアップを図っていく。</p>	<p>・善光寺・戸隠・松代の作業部会では、参加した観光客の反応を踏まえ、各種取組の課題把握・改善が行われており、部会を通してコンテンツ開発の知識等が共有されつつある。 ・外部講師やアドバイザー等を入れるなど、レベルアップに向けた取組みが求められる。</p>	
	<p>事業<1-3-2> 観光関連事業者間連携・受入体制構築支援</p> <p>観光に関連する幅広い事業者間の連携を促進することで、新しい観光コンテンツ開発や観光客が求める情報の共有が観光関連事業者において行われる基盤を構築する。</p>	<p>長野市観光振興計画アクションプラン作業部会</p>	<p>・観光振興計画で重点地域に設定した善光寺界隈、戸隠、松代において、観光関係事業者等で構成する作業部会による観光客が楽しめる具体的なコンテンツ開発を開始。</p>	<p>・地域の状況や観光に精通した関係者が連携することより、地域の特徴を活かした新たな観光コンテンツの検討、開発が進んだ</p>	<p>・作業部会におけるコンテンツの開発や磨き上げを通じて、事業者等の連携強化を図る。</p>	<p>・各作業部会には、幅広い観光事業者が参画しており、地域課題の共有・改善に向けた取組が行われ、事業者間連携が進んでいる。 ・また、交通面において観光客にやさしい整備が進められており、バスロケなどの取り組みの周知を図り、認知度を高めていくことが必要である。 ・観光の質を左右するガイド面においても強化が進む地域が出てきており、他地域でも展開できるよう、好事例を共有していくことが求められる。</p>	
		<p>バスロケーションシステムの構築</p>	<p>長野県、長野市、松本市(交通政策課)</p>	<p>・長野県公式アプリ「信州ナビ」にバスロケーションシステムを実装させた。</p>	<p>・長野市内の路線バスの位置情報がリアルタイムで検索可能となった。</p>	<p>・認知度が低いため、広報活動を実施していく。</p>	
		<p>戸隠の交通渋滞対策</p>	<p>戸隠観光協会</p>	<p>・春の連休、お盆、秋の紅葉シーズンの交通渋滞対策として①シャトルバスの運行②交通規制の実施③交通警備員の配備④臨時駐車場の開設の事業を行う。</p>	<p>・8月から交通警備員や駐車場係員にシャトルバスへの手持ち案内看板を導入。スキー場への誘導を行った結果、奥社周辺の渋滞はほとんど見られなくなった。</p>	<p>・引き続き、交通渋滞対策を行っていく。</p>	
		<p>戸隠観光協会ガイド部の発足</p>	<p>戸隠観光協会</p>	<p>・戸隠登山ガイド組合を戸隠観光協会内に組み入れ、ガイド部を発足させる。</p>	<p>・戸隠神社五社巡りなどニーズが高まっている山岳以外のガイド要請への対応について今後のあり方を検討した。</p>	<p>・新たなガイド体制を構築し、ガイド部の充実を図っていく。</p>	
	<p>事業<1-3-3> おもてなし意識の醸成</p> <p>観光関連事業者や市民を対象にし、観光振興の方向性の共有やおもてなし意識醸成に取り組む。</p>	<p>長野県観光ガイドタクシー乗務員養成講座への講師派遣</p>	<p>長野県(観光振興課)</p>	<p>・質の高いホスピタリティと観光知識を備えた観光ガイドタクシー乗務員の養成を支援[1回]</p>	<p>・県観光ガイドタクシー乗務員(長野・更埴・高水支部)25名に対し、「長野市の観光」について説明。質の高いホスピタリティと観光知識を備えた観光ガイドタクシー乗務員の養成を支援した。</p>	<p>・県観光ガイドタクシー協議会及び県からの要望があれば継続していく。</p>	<p>・観光関連事業者を対象にし、質の高いホスピタリティと観光知識を備えた観光ガイドタクシー乗務員の養成を支援することができた。 ・観光都市として市民意識の向上につながる取組みが必要。</p>
	<p><H30施策の評価> <1-3>観光都市を実現するための人材育成・体制整備</p>		<p>・質の高いサービスや新しいコンテンツ開発が行われる基盤として、市、ビューローによる人材育成支援が行われた。</p>				

平成30年度 長野市観光振興計画に基づく事業実績及び評価

政策2：広域連携とハブ機能の強化

政策目標「観光入込客数」 / 政策全体「消費額・満足度・リポート率」

施策<2-1>広域連携による誘客活動の推進		H30年度					
		実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性	<事業の評価>
長野市を起点とした広域周遊観光促進のために、関係自治体と連携し、コンテンツ開発やプロモーションに取り組みます。	事業<2-1-1> 広域周遊観光促進のためのプロモーション・コンテンツ開発 関係自治体と連携し、山岳観光やウインタースポーツなど、テーマに基づいた広域周遊観光コンテンツの開発やプロモーションを実施する。プロモーション実施に当たっては、重点ターゲットや効果的な媒体を設定し、観光関連事業者と情報共有を図り戦略的に行う。	松本市、上田市との連携事業	松本市、上田市、長野市(観光振興課)	・信州観光PR大阪キャラバン[大阪を訪問し、観光PR活動を行うとともに、季節運航しているJAL大阪線のPRを実施] ・スポーツをテーマとした連携事業として、ウルトラオリエンテーリングを開催	・信州観光PR大阪キャラバン 広域周遊観光の促進に向け、関係自治体等と連携を図りながら効果的な観光プロモーションを実施した。 大阪線(伊丹):利用者数3,771人(平成30年度)、3,616人(平成29年度) ・ウルトラオリエンテーリング 上田城-善光寺(参加者 52人)4/14開催 善光寺-松本城(参加者 48人)5/13開催 松本城-上田城(参加者 69人)10/13開催	・信州観光PR大阪キャラバン 関係自治体等との連携により、広域周遊観光の促進に向けた取組みを推進していく。 ・ウルトラオリエンテーリング 参加者減により、3市及び県オリエンテーリング協会で、次年度以降は当面開催を見送ることとし、次回善光寺御開帳(2021年)に開催をする方向	・広域周遊観光の促進に向け、関係自治体等と連携を図りながら効果的な観光プロモーションが実施できた。 ・関係自治体等との情報交換及び、広域周遊により得られるデータ等を活かし、さらに効果的な誘客となるよう、取組を進めていくことが求められる。
	集客プロモーション パートナー都市協定(上越市、金沢市、甲府市、静岡市、富山市、福井市)	市(観光振興課)	・市庁舎等への観光・イベントポスターの掲出、広報紙への観光・イベント情報の掲載、ホームページの相互リンク等	・県外自治体におけるパンフレット等の掲出や広報誌への情報掲載により、広域的な観光情報の発信を実施した。	・引き続き、各都市と相互連携したプロモーションを実施していく。		
	信越高原連絡協議会(妙高市、信濃町、飯綱町) 誘客宣伝ツール	同協議会(観光振興課)	・わくわくチケット付き広域マップの配布[60,000部]	・同協議会でクーポン付のパンフレットの作成・配布により、より広域的で誘客効果を高めた観光宣伝を実施した。 長野市管内は15,000部配布 誘客ツールとしても活用されている。	・北信エリアで協同した観光宣伝を継続していく。「わくわく割引チケット」の割引店舗等の情報をデジタル化し、誘客宣伝がしやすくなるような検討を進める。		
事業<2-1-2> ハブ機能強化に向けた長野市観光情報センターの強化検討 本市を拠点に市外、県外へ周遊する観光スタイルを確立するため、長野市観光情報センターを広域エリア全体のコンシェルジュと位置付け、その機能強化の検討を行う。	長野市観光情報センター運営(JR長野駅東西自由通路に設置)	ビューロー	・県内東北中信エリアを主として観光情報案内を実施(年中無休) ・日本語及び英語に対応(JNTO認定外国人案内所(カテゴリー2)) ・現地視察(馬籠・妻籠宿へ視察)の実施などにより職員の資質向上に努め、増加傾向にある外国人観光客等に対する案内の充実を図った。	・利用者総数(150,170人)は前年度比103.4%、外国人の利用者(34,155人)は前年度比105.8%。 ・研修により、自信をもって観光プランの提案や回り方の案内ができる。	・来訪者の満足度向上につながるよう、市内のみならず県内の細やかな観光情報を提供する。また、インバウンド対応等の充実を図っていく。 ・昇龍道ルートの主要観光地は尋ねられる機会が多いため、広域観光への対応強化に努める。	・利用者総数の伸びに比べ、外国人利用者の伸び率が大きく、案内所がインバウンドにも認知されてきている。 ・現地視察研修を実施し、旅行者のニーズ把握、二次交通や観光に要する時間等の情報、各地案内所との広域連携等が重要であることがわかった。 ・こうした課題を踏まえ、外国人観光客に対する案内の充実と案内所の機能強化を図っていく必要がある。	
<H30施策の評価> <2-1>広域連携による誘客活動の推進		・広域周遊観光の促進に向け、関係自治体等と連携を図りながら効果的な観光プロモーションが実施できた。関係自治体等との連携により、広域周遊観光の促進に向けた取組みを推進し、更なる誘客を目指していくことが必要である。 ・また、研修等により、長野市の玄関口であり、ハブとなる観光情報センターの機能を一層高めていくことが求められる。					

政策3：地域資源に根ざしたインバウンドの推進

政策目標「市内宿泊客数（外国人宿泊客数）」 / 政策全体「消費額・満足度・レポート率」

施策<3-1>インバウンド推進のためのプロモーション・コンテンツ開発		H30年度				<事業の評価>	
		実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果		【今後】 実施事業の継続性
関係自治体と連携して、インバウンド誘客につながる戦略的情報発信を行います。また重点ターゲットを設定し、嗜好性・ニーズを踏まえた観光コンテンツの開発も実施します。	事業<3-1-1> ターゲット市場への情報発信力の強化 ターゲットとなる外国人観光客が楽しめる観光コンテンツを厳選し、それらがターゲットに的確に伝わるよう適切な媒体を選定し、プロモーションを実施する。	海外でのイベント・旅行博への出展・参加	ビューロー	重点ターゲットとしている台湾及びタイにおいて観光プロモーションを実施	・6/14～18 香港旅行博「The 32th International Travel Expo」 ・6/21～24 台北駅「日本の観光と物産博2018」 ・11/2～4 タイ バンコク Visit Japan FIT Fair 2018 (台12回FITフェア) 出展、参加	台湾及びタイを中心としたASEAN諸国に加え、欧米豪並びに中国の旅行会社に対して「スノーモンキー」や「Hakuba Valley」をキーワードとしながら、長野市内の宿泊拡大に繋がるよう、善光寺表参道、戸隠、松代等の歴史や伝統文化、各種体験、イベント等を組み込んだ商品の提案を行い、誘客を図る。	・本市の外国人宿泊者数は前年比124%、重点ターゲット国である台湾、タイも前年比増であり、プロモーションの効果が表れているものと考えられる。「スノーモンキー」や「Hakuba Valley」など、集客力が高いエリアと積極的に連携し、ターゲットに即したより効果的な取組を進めることが求められる。
	事業<3-1-2> 外国人観光客が楽しめる観光コンテンツ開発 重点ターゲットとなる外国人観光客にとって魅力的な資源を組み合わせたコンテンツ開発に取り組む。開発に当たっては、ニーズに対応できるよう「外国人目線」を取り入れる。	善光寺表参道イルミネーション、灯明まつり・松代ツアー	市(観光振興課)	白馬村に滞在する訪日外国人旅行者を対象としたツアー(善光寺表参道イルミネーション、灯明まつりを体験)を松代ドイツツアー(投扇興体験、真田紐作り、甲冑体験等を体験)と兼ねて開催した。 [11人参加(2日間開催)]	平成30年の本市の外国人宿泊者数は107,081人(速報値)であり、前年比124%となっていることから、プロモーションの効果が現れているものと考えられる。また、外国人観光客をターゲットにした体験型コンテンツを造成することにより、本市への誘客につなげることができた。	ターゲットを適切に選定し、効果的なプロモーションを展開していくとともに、関係自治体等との連携により、様々なニーズへの対応を図っていく。また、令和元年度も「善光寺表参道イルミネーションイベント」及び「長野灯明まつり」の際、白馬村に滞在しているオーストラリア人をターゲットとする日帰りツアーを実施予定	・本市の外国人宿泊者数は、前年比124%となっていることから、プロモーションの効果が表れているものと考えられる。また、外国人観光客をターゲットにした体験型コンテンツを造成することにより、本市への誘客につなげることができた。誘客に向け、近隣市町村と連携した取り組みをさらに進めていくことが求められる。
	事業<3-1-3> 広域連携によるコンテンツ開発・プロモーションの実施 関係自治体と連携し、重点ターゲット向けの広域周遊の観光コンテンツの開発及びプロモーションを実施する。	信越高原連絡協議会(妙高市、信濃町、飯綱町) 訪日外国人誘客推進事業	同協議会(観光振興課)	構成市町にまたがるサイクリングコースの造成に向け、台湾のサイクリストによるファミトリップを実施。併せて、台湾最大級のサイクリングレースイベントにブース出展を実施。	本事業により、戸隠の自然や忍者が台湾においても人気であることがわかった。また、台湾からのツアーが何本か造成されており、当市を含め信越高原への誘客につなげることができた。	台湾の誘客に向け継続する。事業成果がわかるように、アンケートの実施を行うなどの改善が必要。	・ターゲットを適切に選定し、効果的なプロモーション、コンテンツづくりが行われている。安定的な誘客につながるよう、関係自治体等との連携を行うとともに、外国人観光客の国・地域の特性や本市の地域資源を踏まえ、様々なニーズへの対応を図っていくことが必要である。
	サイクリング誘客促進事業	長野市ほか計10市町村(観光振興課)	台湾のロードバイク、クロスバイクユーザをターゲットに、コース造成、パンフレット作成、ファミトリップ、レースイベントおよびセミナーへの参加を実施。	サイクリングコース設定数 4コース サイクリングマップ制作数 10,000部 レースの出展ブース来訪者数 500人	平成30年度から新たに事業を開始した。外国からの誘客には、長野市だけでなく広域のキラコンテンツを組み合わせるプロモーションしていく必要がある。サイクルツーリズムはそのようなプロモーションに適したツールであるとともに、全国的にも類まれなアップダウンのある風光明媚なロケーションを求めてサイクリングに来る観光客は今後増えてくると思われる。そのため、さらなる「信越高原」の知名度向上を狙い事業を推進する必要がある。		
	金沢市との連携による海外メディア招聘事業	長野・金沢国際観光誘客協議会(観光振興課)	日本在住の外国人ライターに、北陸新幹線を利用しながら長野市及び金沢市を視察し、両市の旅の魅力および広域に周遊できるフリーパス「北陸アーチパス」を記事にもらい、外国人旅行者に人気の高いウェブサイト上で掲載することで情報発信を図る。	・ライター数：ライター2名(米・英)+コーディネーター1名(日) ・取材時期：201810月9日(火)～13日(土) ・掲載媒体：Japan Travel.com[英語]【10,485PV / 9,626UU】・フランス語【10,532PB / 9,588UU】、Odigo(Tokyo Creative)[英語]【308PV / 273UU】、Nippon 100[フランス語] ・掲載本数：2本(各ライター1本) ・掲載時期：12月頃1ヶ月間 ・掲載言語：英語、フランス語(上記掲載媒体の後ろに[]で記載)	本事業は、歴史・伝統文化、建築、食等に関心が高く、個人で長期間旅行を楽しむ傾向にある欧米豪の旅行者を対象に、これら素材が豊富に揃っている金沢市及び長野市の魅力を発信することで、同地域の認知度向上とさらなるFIT誘客促進を図るものである。今後も連携して発信することで、相乗的・効果的な誘客促進を図る。		
	<H30施策の評価> <3-1>インバウンド推進のためのプロモーション・コンテンツ開発	・関係自治体と連携して、インバウンド誘客につながる戦略的情報発信を行った。また重点ターゲットを設定し、嗜好性・ニーズを踏まえた観光コンテンツの開発も行われている。					

H30年度							
施策<3-2>外国人観光客受入環境整備		実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性	<事業の評価>
外国人観光客が快適に滞在できるための受入環境整備を進めます。受入環境の整備は優先順位を付け、重要度の高いものや他の施策と関連性が高いものから実施します。	事業<3-2-1> 主要観光地・主要施設、主要観光コンテンツの多言語化促進 訪日外国人観光客がスムーズに観光できるように、主要観光地や主要観光施設等の多言語化を行う。また、本計画に基づき開発する観光コンテンツに関しても多言語化を行う。	各種外国語パンフレットの作成	ビューロー	各種外国語パンフレットを作成し、外国人観光客等に提供	・NAGANO CITY GUIDE MAP[日本語、英語併記4万部] ・NAGANO 長野市[英語3万部] ・Good Luck Trip 長野[英語、韓国語、繁体字、タイ語併記7万部] ほか	各種外国語パンフレットを作成し、外国人観光客等に提供することにより、外国人の観光誘客に努める。	・外国語パンフレットの整備等により、外国人観光客の受入環境の整備は進んでいる状況にある。引き続き、配布の工夫などを行い、市内でスムーズな観光ができるような取組を行う必要がある。
	事業<3-2-2> 主要観光地におけるWi-Fi環境整備の検討 主要観光地におけるWi-Fi環境の整備計画を、利用状況や利用者情報等の分析を行った上で検討する。	長野駅東西自由通路外計3カ所に、Wi-Fiのアクセスポイントを設置	市(観光振興課)	「長野駅東西自由通路」、「ばていお大門」、「楽茶れんが館」に、Wi-Fiのアクセスポイントを設置。	アクセスポイント(観光拠点)整備数 7カ所 年間延べアクセス件数 127,628件	本事業は、外国人の受入環境整備を行うものである。観光庁が行う訪日外国人旅行者を対象としたアンケートで、ハード整備面で最も困ったこととして、「無料公衆無線LANの整備」が挙げられている。訪れた外国人がストレス無く滞在していただくために必要に応じた整備が必要である。	・アクセスポイント(観光拠点)整備数7カ所とすることができた。 ・年間延べアクセス件数は127,628件と多かった。利用状況や外国人旅行者の意見等を踏まえ、整備をしていく必要がある。
		<H30施策の評価> <3-2>外国人観光客受入環境整備	・外国人観光客が快適に滞在できるための受入環境整備が進んでいる。市内でストレスなく旅行が楽しめるよう、外国人観光客目線で、受入環境の整備を今後も続けていくことが必要である。				

H30年度							
施策<3-3>インバウンド対応人材の育成		実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性	<事業の評価>
外国人観光客の増加に伴い、それに対応できる観光関連事業者を育成することが必要になります。外国人観光客を受け入れることに積極的な観光関連事業者を増やし、事業者独自の観光コンテンツやサービス開発を行える人材の育成を目指します。	事業<3-3-1> 外国人観光客受入意識の向上 外国人観光客を受け入れるメリットや受け入れるに当たり最低限行うべきことなどを観光関連事業者へ伝えることで、インバウンドに取り組む事業者を増やす。	観光事業者育成塾	ビューロー	訪日インバウンドの拡大に対し、誘致の現状と課題等に関する講演会を開催[150名参加]	・日本旅行業協会(JATA)会長をお招きし、ツーリズムの新しい時代への幕開けと地域が進むべき方向性について講演をいただき、市内及び周辺地域より多くの観光関連事業者が参加した。	・名称を「長野市未来共創事業」と改め、インバウンドだけではなく、テーマ別観光に沿ったセミナーを開催する予定。 令和元年はサイクルツーリズムで実施。 令和2年度はフィルムツーリズムを予定しており、インバウンド関連事業と限らないテーマとし、新しい需要の開発要素を含んでいる。	・外国人観光客受入意識の向上に向けたセミナーには、市内及び周辺地域より多くの観光関連事業者が参加し、インバウンドの必要性を共有し、関心を高めることはできた。 ・今後さらに増加が予想される外国人観光客の受入に向け、令和元年度はサイクルツーリズム、令和2年度にはフィルムツーリズムと別のテーマなど新たなマーケットで、具体的な取り組みを進める。
	事業<3-3-2> インバウンド専門人材育成支援 外国人観光客向けの観光コンテンツやサービスを開発できる人材を育成し、インバウンドの促進を目指す。	長野市ガイド協会 インバウンドプロジェクト	同協会(観光振興課)	東京オリンピック・パラリンピック(2020年)、善光寺御開帳(2021年)を見据え、外国人観光客への対応として、英会話研修会等による人材育成の開始。	・ガイド協会員の英語ガイド力向上が図られた。 ・英会話教室・同実践講座を開催。(28人) 英語ガイド養成コース・善意通訳コースを設定。(25人)	・東京オリンピック・パラリンピック(2020年)、善光寺御開帳(2021年)に向け、英語ガイド育成コースを継続させるとともに、2020年1月から善光寺表参道・英会話ガイドをスタートさせ、さらなる強化をはかる。	・本市を訪れる外国人観光客に対するサービスの向上に向けた気運の醸成が図られつつあるが、外国人向けの観光コンテンツやサービスを開発できる専門人材は少ない状況である。 ・今年度より、講座を開講し、取組が始まりつつあり、継続し取り組むことで専門人材の育成を進めていく。
		<H30施策の評価> <3-3>インバウンド対応人材の育成	・本市を訪れる外国人観光客に対するサービスの向上に向けた気運の醸成が図られつつあるが、インバウンドの受入れを積極的に行おうとする事業者等が未だ少ない状況にある。 ・インバウンド専門人材の育成は、十分とは言えないことから、関係者との連携の強化や受入意識の向上につながる取組を実施していくことが必要。				

政策4：特色あるコンベンションの誘致促進

政策目標「コンベンション等参加者数」 / 政策全体「消費額・満足度・レポート率」

施策<4-1>コンベンション誘致強化		H30年度					
		実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性	<事業の評価>
<p>コンベンション誘客とともに、参加者に対する市内観光、滞在促進のための情報発信を強化します。</p>	<p>事業<4-1-1> スポーツ・文化芸術などに関連するコンベンション等の誘致活動</p> <p>スポーツや文化芸術などのテーマに即したコンベンション等の誘致を実施する。</p>	コンベンション誘致活動	ビューロー	<p>・市内で開催される「コンベンション」について、一定の要件を満たすものについて、ながの観光コンベンションビューローが助成金を交付</p>	<p>・ながの観光コンベンションビューローが平成30年度に支援を行ったコンベンションの参加人数は113,702人(うち宿泊者数84,458人)であり、誘致に努めている地方都市では高い水準を維持している</p>	<p>・コンベンションの誘致拡大に向け、ながの観光コンベンションビューローの取組を積極的に支援していく。</p>	<p>・コンベンションの参加人数：前年比106.7%(うち宿泊者数：前年比135.4%)であり、高い水準を維持している。開催期間3日間以上のコンベンションが増加していることも要因と思われる。</p> <p>・しかし、対象となるスポーツ大会・合宿の開催は前年度と比較し、横ばいである。更に誘致に努めていく必要がある。</p>
	スポーツ大会開催支援金・合宿開催支援金	ビューロー	<p>・市内で開催・宿泊する期間2日以上、参加者数60人以上で、競技団体が主催、共催または後援を行う大会、市内で開催し、宿泊を伴う延べ宿泊者数60人以上の合宿について、ながの観光コンベンションビューローが支援金を交付</p>	<p>・スポーツ大会開催支援金 実施件数 47件(前年度 50件) 参加者数 23,553人(前年度24,793人) 合宿開催支援金 実施件数 30件(前年度 27件) 参加者数 1,128人(前年度 1,089人) 延べ宿泊者数4,386人(前年度 4,175人)</p>	<p>・コンベンションの誘致と併せ、横ばいで推移しているスポーツ大会・合宿開催支援も積極的に行っていく。</p>		
	オリンピックコンサート	市(スポーツ課)	<p>・オリンピック映像とフルオーケストラによる音楽が融合したコンサートを市芸術館で開催</p>	<p>・観覧者1,150人の内約81%が市内からの観覧者であったが、オリンピックムーブメントの推進には一定の効果があった。〔「大変良かった」 「良かった」約99%〕</p>	<p>・今年度は20周年記念事業のひとつとしてウィンドシンフォニー版を実施したが、来年度はフルオーケストラ版を実施する予定</p>		
	デンマーク競泳チーム事前合宿	市(スポーツ課)	<p>・競泳ワールドカップ(東京)に参加するデンマーク王国水泳連盟の事前合宿の受入れ、併せて市内小中学校との交流会を実施</p>	<p>・選手7名、コーチ等8名の計15名が、11月12日から23日まで12日間合宿を行った。市内小学校との交流や水泳教室など、子供達を中心に市民との交流を実施した。</p>	<p>・来年度は、韓国で行われる世界水泳に向けての合宿が7月に行われる予定</p>		
	<p>事業<4-1-2> コンベンション等参加者への観光情報の発信</p> <p>コンベンション等で市内を訪れた参加者に対して市内観光に関する情報提供を行い、滞在時間の延長や観光消費額の増加を目指す。</p>	コンベンション等参加者への観光情報の発信	ビューロー	<p>・観光情報や飲食に関するガイドブック等の配布、長野市のPR用DVDを放映</p>	<p>・ながの観光コンベンションビューローが、コンベンション参加者に対して、平成30年度に配布した部数は、「おいでなしてながの65,202部」「ながのグルメガイド38,892部」</p>	<p>・4-1-1に同じ参加者に対し周遊観光及び滞在時間の延長に向けて、ガイドブックや映像で魅力を伝える。</p> <p>・引き続き、コンベンションの誘致拡大に向け、ながの観光コンベンションビューローの取組を積極的に支援していく。</p>	
		<p><H30施策の評価> <4-1>コンベンション誘致強化</p>	<p>・ながの観光コンベンションビューローが支援を行ったコンベンションは前年比増となり、好調である。引き続き情報発信を強化し、誘致に努め高い水準を維持するとともに、参加者の市内周遊及び消費額増加に向けた取組をより一層、強化していくことが必要である。</p>				

施策<4-2>フィルムコミッションの強化と観光への活用		H30年度				
		実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性
ドラマや映画関係者へのPR強化を図り、広く長野市への関心を高める取組みを行うとともに、これまで撮影された映画等の舞台を訪れる観光客の増加を図ります。	事業<4-2-1> ドラマや映画の舞台となるような作品の誘致 映画やドラマ等の撮影地としてのPRや、アクセスを活かした撮影誘致を強化する。	フィルムコミッション支援	・ロケーション選定・交渉・申請、エキストラ募集・取りまとめ、撮影協力要請等の実施	・映画7件、ドラマ5件、CM6件、TV番組20件等合計42件の支援を実施した。	・映画やドラマ等の撮影地としてのPRや、アクセスを活かした撮影誘致を継続実施する。	・映画・ドラマ・CM等の撮影について政策支援することにより、映像を通じて市の知名度を向上させ、誘客推進が図られている。
	事業<4-2-2> これまで撮影されたドラマや映画情報のPR ドラマや映画の舞台となった市内地域を訪れる観光客を増やすため、これまで撮影された作品の情報を収集し、PRを行う。	これまで撮影されたドラマや映画情報のPR	ビューロー	・ドラマや映画の舞台となった市内地域を訪れる観光客を増やすため、これまで撮影された作品の情報を収集し、PRを行う。	・木村大作監督作品 映画「散り椿」のメインロケーションとなった富山県では2000万を超える予算の作品応援キャンペーンを県と北日本新聞が主体となって展開しその一環として冊子版のロケ地マップを作製、そこに便乗する形で20万円の協賛でマップに長野市内のロケーションも掲載した。(文武学校、真田勘解由邸を掲載) ・ツーリズムEXPO内ロケ地マップ展に出展	・4-2-1に同じ ・映画やドラマ等の撮影地としてのPRや、アクセスを活かした撮影誘致を継続実施する。
		<H30施策の評価> <4-2>フィルムコミッションの強化と観光への活用	・ドラマや映画等の舞台となり、作品が評価されると、国内及び世界的なプロモーションにつながる可能性がある。首都圏等からのアクセスの良さや多様な地域資源、受入側のサポート体制(各種交渉など)などの強みをPRし、撮影誘致を積極的に進めていくことが必要である。また、公開後の作品の評価も収集し、相乗効果が得られるようなプロモーションとしていくことが求められる。			

平成30年度 長野市観光振興計画に基づく事業実績及び評価

政策5：計画の効果的な実行

H30年度						
施策<5-1>関連情報の収集、施策評価の実施						
	実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性	<事業の評価>
指標の定期的な収集、事業評価を行います。またそれらをもとに事業の実施効果を点検し、改善につなげます。	事業<5-1-1> 統計情報の定期的収集とそれに基づく事業評価	観光客へのアンケート調査の実施	実行委員会（観光振興課） ・対面アンケートによる観光客の動向分析（外部委託）	・指標となるデータの収集を行い、客観的視点から観光振興計画の進捗把握を行った。	・各事業が観光振興計画の指標の達成に資するものとなっているか、今後も定期的に評価検証を行っていく。	・指標となるデータの収集を行い、客観的視点から観光振興計画の進捗把握を行い、各事業が観光振興計画の指標の達成に資するものとなっているか、今後も定期的に評価検証を行っていくことが必要。
	指標として設定したデータを適切、定期的に収集し、計画や事業評価に活用する。	入込客数や観光消費額のデータ収集	実行委員会（観光振興課） ・入込客数や観光消費額のデータ収集、分析（外部委託）	・指標となるデータの収集を行い、客観的視点から観光振興計画の進捗把握を行った。	・各事業が観光振興計画の指標の達成に資するものとなっているか、今後も定期的に評価検証を行っていく。	
	事業<5-1-2> 定期的な事業の見直し					
			<H30施策の評価> <5-1>関連情報の収集、施策評価の実施	・指標となるデータの収集を行い、客観的視点から観光振興計画の進捗把握を行い、各事業が観光振興計画の指標の達成に資するものとなっているか、今後も定期的に評価検証を行っていくことが必要。		
H30年度						
施策<5-2>庁内・関係機関との連絡調整・事業コーディネート						
	実施事業名	実施主体	実施事業内容	【成果】 KPIへの寄与 他、実施した事業の成果	【今後】 実施事業の継続性	<事業の評価>
庁内関係課や観光関連事業者など関係者との情報共有や事業効果の検証を行います。	事業<5-2-1> 関係者と連携した事業実施に係る進捗共有	関係機関との連携	市（観光振興課） ・観光振興団体（ながの観光コンベンションビューロー、観光協会）、長野市ガイド協会、関連事業者等との連携による誘客の推進	・関係機関と連携を図りながら、観光振興計画の指標の達成に向け、各事業の推進に努めた。	・観光関連事業者等との連携や情報共有に努め、指標の達成につながる事業を展開していく。	・関係機関と連携を図りながら、観光振興計画の指標の達成に向け、各事業の推進することが必要。
	事業実施の推進に向けて、庁内関係課や観光関連事業者などの関係者と事業進捗状況の情報を共有する。	庁内における関連情報の収集	市（観光振興課） ・観光振興計画の推進に向け、庁内に開催予定等を照会し、情報を集約	・関係機関と連携を図りながら、観光振興計画の指標の達成に向け、各事業の洗い出しを行った。	・観光関連事業者等との連携や情報共有に努め、指標の達成につながる事業を展開していく。	
			<H30施策の評価> <5-2>庁内・関係機関との連絡調整・事業コーディネート	・更なる庁内関係課や観光関連事業者など関係者との情報共有や事業効果の検証が必要。		